

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	創心会児童発達支援ルーム心歩笹沖		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 9日		令和8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた支援プログラム	利用年齢の幅も大きいことや、利用目的・少し先を見据えた支援を意識して活動を立案しております。利用して下さっている方々の得意なこと、将来に繋がりそうなことを見極めながら提供しております。	スタッフのスキルアップのため、様々な研修に積極的に参加してまいります。継続的に学ぶ機会を設け、ご利用下さっているかたの方々の将来をイメージし、自立に向けた支援を提供できるように意識して関わらせていただきます。
2	社内の他部門・多職種との連携	社内には中高生対象の就労準備型の放課後等デイサービスや就労移行支援事業所、就労A/B型事業所、働くことを学べる事業所など、連携して活動できる部門がたくさんあり、一緒に事例検討会を行ったり、体験会を開いてもらい実際に子どもたちが体験をしたりしております。また、社内には作業療法士、理学療法士等の資格を持った職員が在席しているので、様々な視点からのアドバイスをいただき、支援に活かしています。	他部門との連携を今以上に密にしていき、様々な視点から物事判断、評価して、支援に繋がらせていけることができるようにしていきます。また、利用者の方へのアセスメントの視野を広げることで、適切な支援に繋がっていきます。
3	保護者様・関係機関との連携・情報共有 保護者支援・相談	毎回連絡帳の内容をしっかりと書かせて頂くと共に、送迎時にお話をさせてもらう機会を設けさせていただいております。連絡帳を学校に持って行って頂き(保護者判断にはなりますが)、担任の先生との共有にも使用させていただいております。学校、家庭、心歩笹沖が一冊の連絡帳を通して連携を図る事が出来ております。また、小さな事・何でも相談に乗れる体制を整えさせて頂いております。	連絡帳のやり取りや送迎時の話だけではお伝え出来ない事もあると感じております。実際の療育時間に保護者の方も参加していただける活動や、活動の様子を動画などで見て頂ける場の提供も作っていかれたらと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動支援、保護者会の開催が行えていない	保護者間の交流が出来る支援が十分に行えておりません。保護者の方の中には、必要と感じてないかたもおられますが、先輩保護者の方や同じ悩みを感じている方からのお話を聞く機会を提供していかないといけないと感じております。	ご利用されている方々や保護者様を巻き込んだ活動が何かできないか考えております。話を聞く、自分の悩みを話す茶話会形式の物や、実際に何か一緒に活動を行い交流が持てるものなど、色々な視点からの活動ができればと考えております。保護者の方のご意見も参考にさせていただきます。
2	地域の児童発達支援センターや障害支援事業所との連携やスーパーバイズや助言を受ける機会がもてていない	社内の他事業所との連携が取りやすい環境にあるので、地域の機関との連携を図る時間を作りだせていないのが現状です。	積極的に関わりを持たせていただく、助言をいただく、事例などの共有等の機会を持たせていただけるような時間を作りたいと考えています。
3	地域と連携をした事業運営	地域の方に心歩笹沖を知っていただく機会が持てていないのが現状です。知っていただく努力が足りていないと感じております。	地域の方の中にも、子育てに不安を抱えている方も多くおられると感じています。そんな中で、自分たちが住んでいる地域に相談できる事業所があることを知っていただく機会を作ったり、事業所や会社の行事等の参加していただける機会を作っていけるよう企画していきたいと考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 創心会児童発達支援ルーム心歩笹沖

公表日 令和8年3月16日

利用児童数 31名

回収数 28名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	1		1	・2階だけではなく1階にも広いスペースがあり、良いと思う ・2階で全員が揃ったところを見ていないので分からない	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	3		2	様子を見ていないので分からない	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	3		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28				今後の課題を重点的に取り入れて支援してもらっているのだから助かっている	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	3		1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	2	10	5	パン作り等に参加させていただき楽しんでいました。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	8		7		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	7	6	14	・そのような会の開催は聞いたことがないので、分からない。 ・仕事をしていたり、忙しいので保護者同士の交流は難しいと思うので、なくてよい。	・ご意見ありがとうございます。保護者支援の勉強会等の案内チラシは啓示をしたり、配布させて頂いております。また社内の他部署との連携を図って見学会を検討しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	6	1	13	心歩のに通わせたいと思ったときから、現在に至るまで内容が更新されていないことが残念	・ブログ等で事業所の活動内容について定期的にお知らせできるよう努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	3		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1		3		避難訓練を実施する際には、一週間通して実施しております。その時には保護者の方にお伝えしております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	2		4	そのような状況を経験していないので分からないがそうなれば説明をされると思う	小さな怪我でも事業所で変化があった時には、保護者様へ伝達するようにしております。これからも安全に留意して療育してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	7			時々勉強をしたくない。と言うことがあるが、嫌がることはなく通っている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	28				兄弟の相談にも乗ってもらっているので、助かっています。	多くの保護者様からご満足のお声をいただき、とても嬉しく思います。そのお声に甘んずることなく、今後もひとりひとりの利用者様とご家庭に寄り添いながら、真摯な支援に取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		創心会児童発達支援ルーム心歩笹沖				公表日	令和8年3月16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用者の方の認知特性、活動内容に応じて環境を構造化している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		取り組んでいる活動によって、個室を使用したり、カムダウンのために使用したりしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援の振り返りの中で出た意見については、管理者と共有しながら検討を行い、業務改善につなげていっている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			県または、市の研修等には積極的に参加するように努めております。また、個人でオンライン等の研修を受講しております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談をされた時、面談時、申し送り時などに実施することを意識しております。	ペアレントトレーニングと銘打って実施はしていないが、今以上に保護者支援を行ってまいります。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者様の意見を取り入れながら検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○		アセスメント時に確認を行っています。必要な対応がある利用者の方には詳しく対応を伺い、全職員で把握しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		内部の共有だけでなく、そこから考えらるリスク管理、対処方法について会議で検討している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		定期的に社内研修に参加している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		該当者がいた場合は、会社内の拘束委員会に相談を行い、検討している。安全面を考慮し、対象者がいる場合は保護者に必要な同意書をいただいております。	